

富山市子育て支援ガイドブック制作・発行業務に関する質疑・回答

	質 問	回 答
1	2025 年度版では、子育て中のパパ・ママに親しみを持っていただけて、かつ「こどもまんなか」を象徴するようなトーンで制作しました。周知・浸透の観点から、継続性が有益と考えていますが、次年度（2026 年度）以降についても、同様のトーンを維持し、シリーズとして継続して見せることは可能でしょうか。	提案は差し支えありません。ただし、実際の掲載内容については、受託候補者特定後、市と事業者双方の協議の上、決定します。
2	富山市在住の外国籍子育て世帯に向けての情報周知サービスはありますか？社会の多様化に対応するため、ガイドブックも多言語対応が望まれると考えています。例えば外国籍世帯に向けたウェブサイトなどがある場合は二次元コード（QR コード）から誘導する、またはページの一部を割いて、その施策について記載するなどを想定しています。	提案は差し支えありません。ただし、実際の掲載内容については、受託候補者特定後、市と事業者双方の協議の上、決定します。 なお、現在富山市において、外国籍子育て世帯向けに特化した情報周知サービスはありません。富山市公式ホームページ及び市の子育て支援ウェブサイト「育さぽとやま」は、多言語に対応しています。
3	より平等で多様な方に優しいガイドブックを目指すにあたり、視覚に障がいのある方へのフォローを検討しています。音声案内に対応した既存のサイトなどがありますか。もし無い場合は、新たに作成することも検討したいと考えています。	提案は差し支えありません。ただし、実際の掲載内容については、受託候補者特定後、市と事業者双方の協議の上、決定します。 なお、現在富山市において、音声案内に対応したサイトはありません。
4	子育て支援ガイドブックは、20 代前半の若い保護者も目を通します。若い世代は SNS で情報を得ることを主としているため、難しい言葉、長い言葉に慣れていない可能性があります。若い子育て世帯にもすみずみまで目を通してもらい、助成金や予防接種など、必要な情報のとりこぼしがないように、より伝わりやすい表記が望ましいと考えますが、漢字の多い行政用語を平易な言葉に変換して表記することは可能でしょうか？例：申請＝申込み、支給＝支払い、交付＝お渡しするなど。	文章の意味合いがほぼ同等であれば表記の変更は差し支えありませんが、実際の表現方法については、受託候補者特定後、市と事業者双方の協議の上、決定します。

5	現行のガイドブックに関して、実際に使用する保護者からの意見等を反映させると、よりニーズに応じた内容の冊子となると考えています。弊社発行の媒体（子育て世帯向けフリーペーパー）を通じて、富山市在住の利用者へアンケートを行い、その結果を基にフィードバックを加えていくことは可能でしょうか？	提案は差し支えありません。ただし、実際の掲載内容については、受託候補者特定後、市と事業者双方の協議の上、決定します。
---	--	---